

営農ウィークリーNEWS

ネギえそ条斑病の発生調査を開始しました。



調査の様子

タマネギの葉身に発生したネギえそ条斑病



3月17日、JA京都中央管内のネギ栽培圃場において、「ネギえそ条斑病」発生調査を開始しました。

「ネギえそ条斑病」は、ネギアザミウマが媒介するウィルスによる難病害で、平成26年6月、京都市伏見区において初確認されました。今年3月10日には、向島事業センターにて「ネギえそ条斑病」の防除対策を強化するため、「九条ねぎにおけるネギアザミウマ防除対策研修会」を開催し、ダゾメット剤を用いた防除対策や、ネギアザミウマの生態について研修しました。研修には、九条ネギ生産者や各関係機関担当者が参加しました。

今年においては、「ネギえそ条斑病」が発生する季節やネギの品種間差異、ネギアザミウマの保毒実態などについて解明するため、ネギ栽培圃場だけでなく、キャベツやタマネギ栽培圃場など、週1回ネギアザミウマの発生とネギえそ条斑病の発生状況を調査します。

ネギアザミウマの新系統ってなあに？

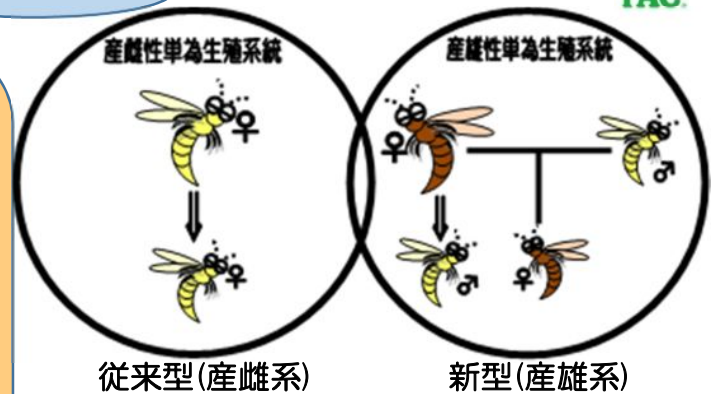


従来、日本に生息しているネギアザミウマは「産雌系」といい、メス♀しか産まないタイプでした。

ところが近年、「産雄系」のオス♂を産む新型タイプのネギアザミウマの発生が、京都府下でも確認されております。

この、産雄系ネギアザミウマは、産雌性とは異なる薬剤感受性が報告されており、薬剤散布をしても効果が表れにくいことがあるのは、系統の違いではないか、と言われております。

薬剤防除の際には、系統の異なる薬剤をローテーション散布、また防虫ネット等を利用する物理的な防除を実施していただきますようお願い致します。



JA京都中央 平成28年3月22日
No.285 作成者 上田 由里子

ふぁいとエース

くみあいジシアン入り複合S804

正味重量20kg

18-10-14-0.1-0.2

チッソ リン カリ ほう素 マンガン

👉 速効性チッソ + 持続性チッソ!

👉 微量元素 (ほう素・マンガン) 入り!

👉 葉菜類・果菜類に最適!



販売 JA 京都中央

供給

全農